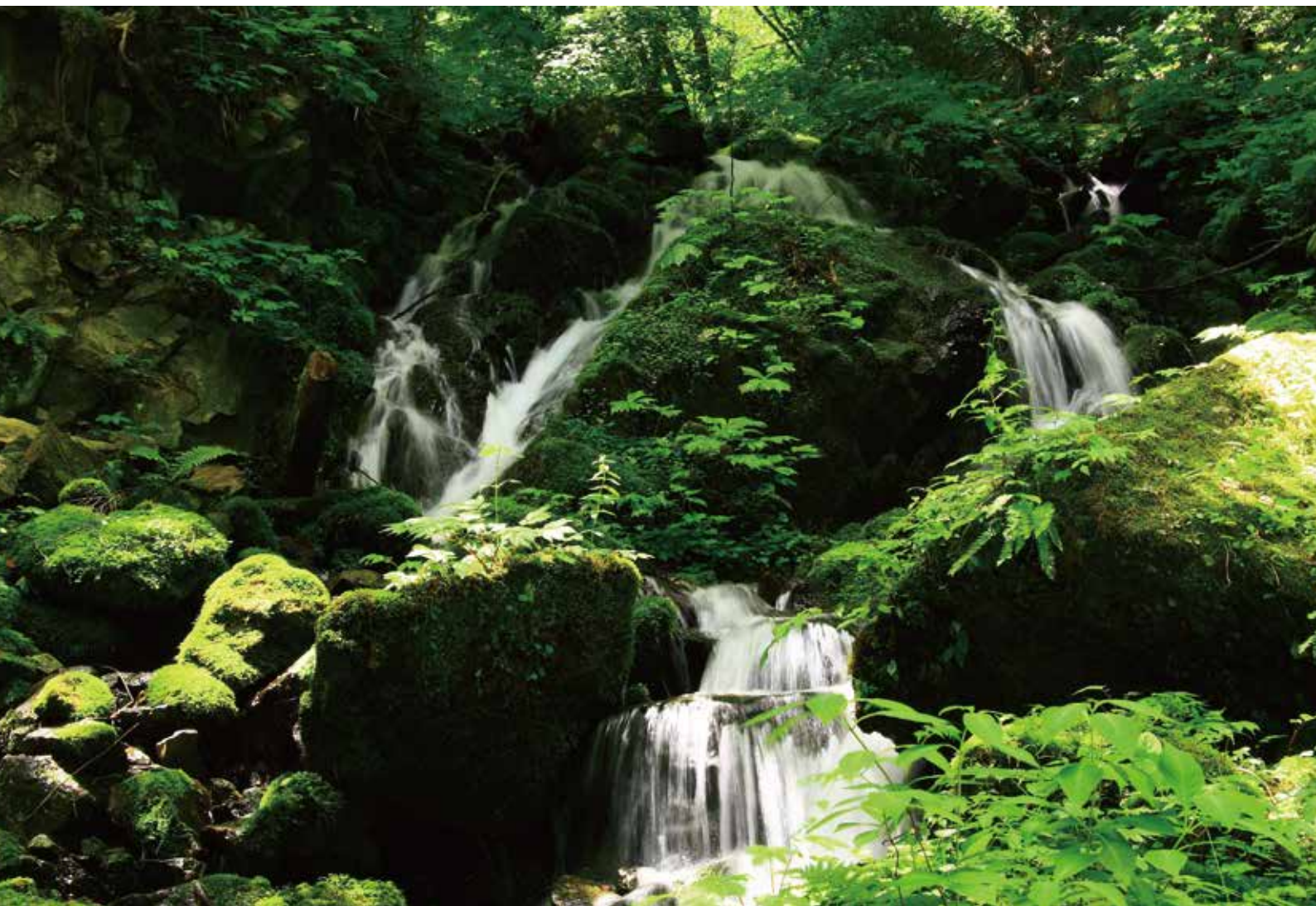


市議会だより

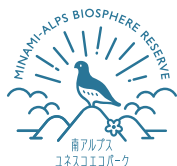
No. 76

2022.04.25

第1回臨時会【1月】・第1回定例会【3月】



Contents / 目次



- P02 第1回臨時会(1月)の概要
第1回定例会(3月)の概要
- P04 議決結果
- P05 各常任委員会委員長報告
- P06 予算特別委員会レポート
- P07 代表質問 6 議員
- P13 一般質問 8 議員
- P17 請願/決議/議会活動
- P18 議会改革Vol.3 市民アンケート結果
- P22 市民からひとこと/編集後記

【表紙写真】

シリーズ「南アルプスユネスコエコパーク」
#6 平成峡の苔と滝【撮影：名取 高德さん】

檜形山北尾根登山道脇の小さな溪谷が平成峡。清流沿いの遊歩道から、4つの滝(標高の低い順に八千代の滝、千代の滝、白龍の滝、水神の滝)を観ることができます。



第1回臨時会（1月）の概要

1月18日開催

金丸市長から、予算案1件の提出がありました。
一般会計の補正予算額は19億1305万5千円で、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

ピックアップ

臨時会で決まった注目事業
▶コロナ対策支援

約6億7402万円

注目事業1
住民税の非課税世帯等に給付金

住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円を給付する。
国の制度による給付金。

約1億5439万円

注目事業2
住民税の所得割非課税世帯に給付金

国の制度（注目事業1）において対象外となる住民税所得割の非課税世帯に対して、1世帯あたり10万円を給付する。
南アルプス市が単独で実施する給付金。

第1回定例会（3月）の概要

令和4年度当初予算

一般会計

313億円を可決

令和4年第1回定例会が2月25日から3月23日までの27日間の会期で開催されました。

金丸市長から専決処分案1件、条例案15件、予算案27件、同意案20件、ほか7件、合わせて70案件の提出がありました。

予算案については、令和3年度補正予算案が10件、令和4年度当初予算案は、一般会計ほか13の特別会計と3の企業会計、あわせて17件で、一般会計の総額は、313億4196万7千円でした。

このうち一般会計当初予算案については修正案が提出されましたが、起立採決の結果、修正案は起立少数で否決となりました。

※3ページ下段参照

このほか、南アルプス市シルバー人材センターから請願があり、審査の結果、採択となりました。

※17ページ上段参照

また、ロシアによるウクライナへの侵略を受け、南アルプス市議会として抗議する意思を示すため、「ロシアによるウクライナ侵略に対して厳重に抗議しロシア軍の即時撤退等を求める決議」を全会一致で可決しました。

※17ページ中段参照

提出された案件および議決結果については、4ページに掲載しています。

代表・一般質問

※7～16ページに掲載

今定例会では、3月8、9日に14名の議員が代表・一般質問を行いました。

質問とは、議員が市の執行機関に対して行政全般にわたり、事務の執行状況の説明を求めたり政策に対する見解や認識を質したりすることをいいます。

代表一般質問の場合は、議員や執行機関の政策を聞くことのできる貴重な場です。ぜひ傍聴に来てください。

次の議会の予定は、22ページ左下をご覧ください。どの議員がどんな質問をするかは、あらかじめ市議会のホームページに掲載します。



質問を傍聴する親子。この時は、子育てに関する質問でした。

ピックアップ 第1回定例会（3月）で決まった注目事業

8億316万円

若草保育所を 移転新築



現在の若草保育所は施設が老朽化し、また若草地区の人口増加により保育室が不足しているため、旧若草支所の駐車場に移転新築する。新若草保育所は令和4年度中に完成の予定。

約2億1272万円

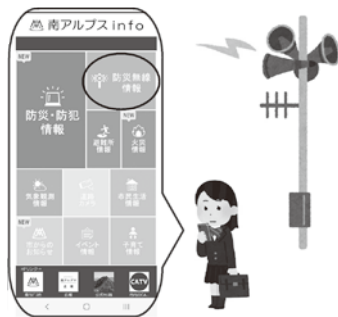
完熟農園跡地 整備に向け 調査を開始



完熟農園跡地12ヘクタールに市の集客交流拠点を整備する事業について、令和3年度に行った事業者の公募・審査を経て、事業者を決定する。また、埋蔵文化財の調査等、整備に向けた各種の手続きを進める。

約1億412万円

防災行政無線 に新たな機能



防災行政無線は、現在、音声のみの放送となっているが、新たな機能を付加することにより、音声と同時に、市ホームページや「南アルプスインフォ」など複数のメディアに発信できるようにする。

約7969万円

公園の再整備



楡形総合公園、御勅使川福祉公園、秋山川すももの郷公園、ふれあい公園（「やまなみの湯」に隣接する公園）、遊湯ふれあい公園を『みんなが楽しめる都市公園』として、再整備に着手する。

討論 賛成！ 反対！ 私はこう考える

議案第25号 令和4年度一般会計予算に対する修正案

修正案の内容は、原案から、3つの事業の予算を一部削除するというものです。

予算を一部削除する事業

- ・「南アルプスIC新産業拠点整備事業」
- ・「南アルプスIC新産業拠点整備事業（埋蔵文化財調査）」
- ・「甲西市民総合グラウンド機能回復事業」

討論後の起立採決の結果、賛成2名の賛成少数で修正案は否決となりました。

修正案反対討論



修正案は妥当性を欠くため認められない
小池 伸吾 議員

この修正案では、南アルプスIC新産業拠点整備事業の進捗を止めることになるため認められない。参入企業と「協定を締結し」、参入が担保できた後に予算執行するものであり、問題はない。甲西市民総合グラウンド機能回復事業については、沿線住民への対応と同様に、騒音対策は、JR東海が実施することが大前提である。

修正案の主旨



今の計画では市に損失が生じる危険が
名取 泰 議員

南アルプスIC新産業拠点整備は、参入企業が途中撤退した場合のリスク回避策が不十分なことや、企業との契約書が事前に示されないなど、依然として解決されない課題がある。甲西市民総合グラウンド機能回復事業は、リニア軌道に防音フードが設置されないことによる微気圧波の影響が検討されておらず、機能回復の目的を果たせない。

令和4年第1回臨時会・第1回定例会 審議した議案とその結果

上程議案		○：賛成 ×：反対 欠：欠席	結果	藤田 由未	保坂 健	飯野 多恵子	三枝 守和	松野 昇平	戸栗 淳	三木 充	有野 一成	櫻田 力	花輪 幸長	村松 三千雄	野中 國幹	北村 千代子	矢崎 俊秀	名取 泰	小池 伸吾	斉藤 論	清水 重仁	齊藤 博明	河野 木綿子	小林 敏徳	
第1回臨時会																									
議案 115	一般会計補正予算（第9号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会																									
専決処分の承認																									
承認 1	調停の申立ての専決処分		承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定																									
議案 1	都市下水道条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例一部改正																									
議案 2	個人情報保護条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 3	手数料条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 4	職員の勤務時間、休暇等に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 5	職員の育児休業等に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 6	会計年度任用職員の報酬等に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 7	長寿祝金条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 8	放課後児童クラブ条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 9	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 10	農村公園条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 11	市営住宅条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 12	社会体育施設条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 13	学校体育施設等の利用等に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 14	公営企業の設置等に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の廃止																									
議案 15	心身障害者扶養共済制度加入者助成金支給条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度補正予算																									
議案 16	一般会計補正予算（第10号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 17	国民健康保険特別会計補正予算（第5号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 18	後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 19	介護保険特別会計補正予算（第4号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 20	芦安農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 21	山梨県北岳山荘管理事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 22	芦安簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 23	土地取得造成事業特別会計補正予算（第4号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 24	下水道事業会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 47	国民健康保険特別会計補正予算（第6号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度予算																									
議案 25	一般会計予算に対する修正案		否決	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
	一般会計予算		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 26	国民健康保険特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 27	後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 28	介護保険特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 29	居宅介護予防支援事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 30	芦安農業集落排水事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 31	温泉給湯事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 32	山梨県北岳山荘管理事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 33	芦安恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 34	中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 35	高尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 36	城山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 37	雨鳴山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 38	土地取得造成事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 39	水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 40	下水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 41	自動車運送事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他																									
同意 1～19	農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 20	副市長の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 42	広河原山荘の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 43	森林総合利用休養棟及び南アルプス市芦安農産物特産物直売加工施設の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 44	市道路線の認定		可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 45	市道路線の変更		可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 46	市道路線の廃止		可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 48	土地の売払いについて		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 49	土地の売払いについて		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 4-1	「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南ア議 1	「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南ア議 2	ロシアによるウクライナ侵略に対して厳重に抗議し、ロシア軍の即時撤退等を求める決議		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

各常任委員会 委員長報告

常任委員会の質疑の要約を掲載
しています。各常任委員会では、
条例案など予算以外の案件につい
て審査しました。

総務常任委員会

● 会計年度任用職員の報酬等に
関する条例の一部改正

Q 保育所等に勤務する会計年度
任用職員の報酬額を4号給引
き上げるが、具体的にどのくらい報酬
額が上がるのか。

A 月給保育士の平均で月額660
0円、率にして3.7%、時給の保
育士では平均で1時間当たり35円上がる。

● 「適格請求書等保存方式（イ
ンボイス制度）」について、シ
ルバー人材センター事業に及
ぼす影響が極めて大きいこと
から、安定的な事業運営が可
能となる適切な措置を講じる
ための請願書

Q 請願書の中に、「少額の収入し
かないセンターの会員の手取り
額がさらに減少することになり」と記
載されているが、シルバー人材センター
の会員の年収はだいたいどのくらいが
多いのか。

A 平均すると、年収で50万〜80万
円の間が一番多いと思う。

厚生文教常任委員会

Q 若草地区拠点施設周辺整備に
伴い、南アルプス市若草弓道場
を廃止するということであるが、若草
弓道場のこれまでの利用実態は。

A 40名程度の社会人の団体が利用
している。この団体は県で1位



廃止することが決まった若草弓道場

をとるレベルで、とても一生懸命に活動
をしている。利用実態は、年間で平均
すると1日に1名の方が利用している計
算で、休日の利用が多いという状況で
ある。

利用団体の方々とは十分に話し合い
を行い、若草弓道場は廃止し、代替施
設として櫛形中学校の弓道場を一般開
放することについては、理解をいただい
ている。

● 心身障害者扶養共済制度
加入者助成金支給条例の廃止
について

Q 障がいのある方が親を亡くした
ときの支援について市は今後ど
のような制度を整備する考えか。

A 市では地域生活支援拠点事業を
開始しているが、その中で、障
がいのある方が親を亡くしたときの支
援を充実させるため、福祉法人等と協
力して相談体制の充実や緊急対応、ま
た将来を見据えた体験をする事業等の
整備を進めている。

産業土木常任委員会

● 都市下水路条例の制定について

Q この条例の第7条に都市下水路
の敷地または排水施設を占用し

ようとする者は許可を受けなければな
らないとあるが、占用とは具体的にど
のようなケースか。

A この都市下水路は、主に市街地
の雨水を排水する道路下ないし
道路に付随した大型の水路である。
水路に家庭からの浄化槽を通しての
排水や道路下の中に占用させるパイプ
などについて、占用の許可をするもの
である。

● 広河原山荘の
指定管理者の指定について

Q この議案で広河原山荘の指定管
理者に指定されている山梨交通
株式会社は、広河原山荘や周辺の自然
に対する知識に長けているのか。また、
広河原山荘の利用者に対して周辺の自
然に関する説明ができる体制がとれて
いるのか。

A そのようなことを重要な項目と
して、広河原山荘の指定管理者
の審査を行った。山梨交通の提案にも
そういった自然教育、山の関係等につ
いて多く盛り込まれており、また、地
域で活躍されている方々と一緒にやっ
ていくんだという意向が深く、さらに広
河原地域、南アルプス山系については、
広いノウハウを持っているという提案が
あった。

予算特別委員会 レポート

予算特別委員会は議長を除く全議員で行い、3月3日、10日、11日、14日、15日、16日の計6日間にわたって審査しました。

令和3年度補正予算は一般会計予算1議案と特別会計予算9議案、計10議案が付託されました。令和4年度当初予算は、一般会計予算1議案と特別会計予算16議案、計17議案が付託されました。

主な質疑の 要約を掲載しています

令和4年度一般会計

● 市民手続き支援事業

Q 遺族が行う死亡に関するさまざまな手続きを支援する窓口を新たに設置するという内容であるが、正式な名称と設置時期は。

A 正式な名称は、「おくやみコーナー」とする予定。設置時期は、対応する窓口職員の研修期間を設けて準備が整いしだい稼働する予定である。

Q 周知方法、利用方法は。

A 周知については遺族にわたす文書や広報等にてお知らせする。利用者が分かりやすいように看板を設置する予定である。

利用方法については、予約制とし、電話とインターネットで予約できる方法を考えている。

● 南アルプス市

急速充電スタンド設置事業

Q 急速充電スタンドはどこに何台分設置するのか。

A 市役所本庁舎駐車場内に1台分を設置する。

Q 電気代はどこが負担するのか。

A 充電スタンドを維持するための電気代については、市役所が負担する。利用者が充電するための電気代については、利用者が負担する。

Q 充電スタンドを維持するための電気代については、市役所が負担する。利用者が充電するための電気代については、利用者が負担する。



急速充電スタンドを設置する本庁舎駐車場

● 小中学生生理用品配置事業

Q この事業については実証実験という形で令和3年度は中学校で実施してきたが、ほかの公共施設にも広げる考えはあるか。

A 令和3年度に中学校のみで実施してきたが、令和4年度からは、小学校でも実施する。

Q もともとはコロナ禍によって顕在化した生理の貧困の対応としての事業であるが、コロナ禍でなくてもこのような事業を必要とする方はいらっしゃると思う。

A コロナ禍が収まった後も事業を継続する考えはあるか。

Q 学校での需要の状況などを把握しながら、事業を継続していきたい。将来的には、福祉総合相談課の予算から、学校の予算に移管していく予定である。

● PCB(※1) 橋梁塗膜除去事業

Q PCBが含有している橋梁3橋の塗膜除去および再塗装を実施するとの説明であるが、塗膜除去が必要な橋梁は全部でいくつあるのか。

A 橋梁の調査をした結果、塗膜除去が必要な橋梁は今回説明した3橋のみである。

● 都市公園再整備事業

Q 都市公園のリニューアルを図るという説明があったが、具体的な内容は。

A ウォーキングコースの整備、健康遊具、インクルーシブ遊具(※2)の設置等を行う予定である。

● 若草南小学校

情緒障害通級指導教室

Q 通級指導教室については、ほかの学校からも児童が通うのか、また、送迎は誰がするのか。

A 通級指導教室は、ほかの市内公立小学校の児童も通う。なお、中学校については楡形中学校が通級指導教室を行ってほかの市内公立小学校の生徒も通う。送迎については保護者がする。

(※1) PCB: 工業製品に広く使用されてきた物質。環境や人体に悪影響があるとして、現在は世界各国で製造中止となっている。
(※2) インクルーシブ遊具: 障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に遊べる遊具。

審査結果

当初予算のうち一般会計予算の審査では、反対討論が行われましたが、起立採決の結果、原案が賛成多数により可決すべきものと決定しました。そのほかの予算案については、全会一致で可決すべきものと決定しました。



討議の焦点

行政経営方針の重点施策 「自然との共生」の取組み内容は

▶ ユネスコエコパークの理念とSDGsを基本にしたまちづくりである。

「将来を見越した消防団組織のあり方」の検討内容は

▶ 消防団組織の再編、消防ポンプ車の配備、機材の見直し等、抜本的な改革を検討する。



南風
櫻田力 議員



行政経営方針

Q 「SDGsと組み合わせる幅広い年齢層に向けたユネスコエコパークの啓発事業を実施する」との方針の取組内容は。

A 「教育」、「水」、「気候変動」、「陸上資源」をテーマに、幅広い年齢層に向けた活動を実践していく。

Q SDGsの推進には、市長、副市長、庁議レベルの各分野の責任者の下に事務局を置いて、経済、社会、環境の3層構造を把握する組織を編成し、また、さまざまな利害関係者との連携を図るためには、組織の外から推進体制が明確に分かる体制を構築する必要があると考えるが、市長の考えは。

A SDGsの取組みは、既に市が実際に進めていることがほとんどであり、新たに組織を作るといふよりも各部門がそれを意識しながら進めていくことが重要と考えている。

Q 「櫛形山のアヤマなど動植物減少に関する調査、検証を実施する」との方針の取組内容は。

A 来年度は、生物多様性回復に向け、エコパ伊奈ヶ湖周辺の動植物について、文献調査、植生図の作成、動物種類の調査などを実施し、現状を把握する。



市が行うユネスコエコパークの理念に基づく取組みはSDGsにも結びついている

Q 市之瀬台地で昔からよく見かけるアカハライモリが、山梨県のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。イモリがこの地で住み続けられる環境を守ることがこの地で暮らす人々の土台を将来につなげることであり、ユネスコエコパークの理念そのものであると捉え、櫛形西地区と上宮地区の皆さんが協力して今年度から生息調査を始めようと準備を進めている。このような地域の活動に

し市の積極的な協力を要請するが、市の考えは。

A 提案された内容は、ユネスコエコパークの活動のなかで、保全活動の重要な位置づけとなる非常にすばらしい活動であると考えられる。市として、できる限りの支援を行う。

Q 「公共施設に積極的に自然エネルギーを導入する」との方針を掲げて、脱炭素社会づくりを目指しているが、令和4年度末の本市におけるCO2の実質排出量の削減はどれくらいか。

A 公共施設の自然エネルギー導入による令和2年度末のCO2削減量は、約2千34トンである。令和4年度は、金山沢川水力発電所の効率的な稼働より2千92トンを見込んでいる。

Q 市は、「将来を見越した消防団組織のあり方の検討」を行う方針だが、どのような視点で検討を行うのか。

A 急速に進む「少子高齢化」、「人口減少」、「サラリーマンなどの被雇用者の増加」などにより団員の確保が厳しい現状がある。地域の実情や消防団の意見も十分に踏まえ、消防団組織の再編、消防ポンプ車の配備や機材等の見直しなど、抜本的な改革を検討する。



討議の焦点



本市も地域スポーツコミッション事業を展開する考えは

▶ 山梨県が本年10月にテスト開催する南アルプス林道でのサイクルイベントに積極的に協力していく。

新広河原山荘営業に向け高付加価値サービスの具体策は

▶ 一般観光客もターゲットに体験プログラムや特産品による食の提供に取り組む。



新政南アルプス
村松 三千雄 議員

観光資源の発掘

Q 地域産業の活性化と新たな関連ビジネスと雇用機会の拡大を目的とした「地域スポーツコミッション事業」を展開する考えは。

A 山梨県とともに策定した「南アルプス観光振興ビジョン」では、豊富な観光資源を活用したスポーツツーリズムの推進を掲げ、本年10月に地域スポーツコミッションの主要事業として、広河原までの南アルプス林道を活用したサイクルイベントをテスト開催する。

本市は、食事や飲み物を提供するエイドステーションや、広河原周辺でもてなしイベントの運営などで、積極的に協力し、参加者が大会前後に市内に滞在し宿泊や飲食等を行うことで、地域経済の活性化に繋がると考えている。また、このテスト開催を検証するなかで、令和5年度以降の本格開催に繋げていくよう、山梨県と連携し鋭意取り組んでいく。

Q スポーツ大会や合宿を誘致し、スポーツと観光資源を活かしたまちづくりに取り組む考えは。

A 本市では、さまざまなスポーツ大会や全国大会等も開かれている状況であり、大会等の誘致は、交流人口の促進に非常に効果があり有効で

あると考えている。

今回のスポーツコミッションの活動を契機に積極的に調査研究し、観光産業の活性化に活かしていく。

Q 今年6月、新広河原山荘は営業開始する予定で、高付加価値サービスを展開するとしているが具体策は。

A 新広河原山荘は、登山客のみならず、一般観光客や体験型ツアー等の受け入れもターゲットとし、このエ

リアならではの自然環境を活かした体験プログラムや、本市の特産品を活用した多様な食の提供など、価値の高いサービスの提供を目指し指定管理者とともに鋭意取り組んでいく。

広河原に滞在し、雄大な北岳が眺望できる展望テラスの整備や、旧山荘跡地を活用し広河原のポテンシャルを活かす施策を、山梨県と連携し、検討を進めていく。

また、山梨県は観光振興ビジョンを具現化するため、南アルプス観光高付加価値化調査検討事業に着手している。

Q 高齢者やファミリー向けの散策ルート構築のために、新山荘正面あたりから対岸への「つり橋」の新設の検討価値は十分あると考えるが。

A 「つり橋」の設置は、新たな名所になり得る部分もあるが、さまざまな課題も当然考えられる。

まずは山梨県や環境省などとの度相談してみたいと考えている。

●その他の質問

- 自治会未加入者への加入促進について
- ごみ集積所への不法投棄・不適正排出への対応について



6月から開業予定の新広河原山荘



ひきこもり支援の相談窓口の体制は

▶福祉総合相談課内の自立相談支援機関と社協に委託しているコミュニティソーシャルワーカーが対応。

ひきこもり支援を含め、複合的生活課題支援の取組みは

▶各分野の相談機関や地域の関係機関が包括的に連携し、福祉総合相談体制の充実を図る。



躍進会
北村 千代子 議員

A 本市ではひきこもり支援に特化した相談窓口は設置していないが、主な相談窓口は福祉総合相談課内

Q ひきこもり支援の相談窓口の明確化とその周知の対応は。

しかし、取組みの課題としてひきこもり支援は短期間で成果が現れるものでなく、伴走型支援が必要になり、支援者が受け持てる人数が限られている。

本市の取組みでは、社会参加へ向けた支援として、「生活困窮世帯のための子どもの学習生活支援事業と就労準備支援事業」、障害サービスでは「地域活動支援センター」などの居場所の提供をしている。

一方が潜在的に存在していることが推測される。ひきこもりはその背景や要因など多種多様であり、社会的に孤立する「8050問題」などの課題も顕在化している。

平成27年の内閣府調査の出現率から本市の人口で算出すると若年層で282人、中高年層で355人、合計637人となり、さらに多くのひきこもりの

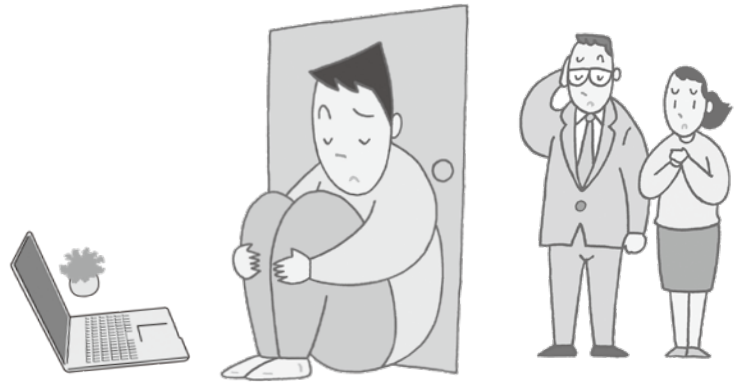
A ひきこもりは、なかなか表面化しにくく、実態の把握が難しい。

Q 本市におけるひきこもりの現状認識と取組みの状況は。

ひきこもり支援

Q ひきこもり支援を推進するにあたり、ひきこもりの当事者がホッとしてできる場所や安心して誰かとつながるきっかけの場づくりは。

の自立相談支援機関と社協に委託しているCSW(コミュニティソーシャルワーカー)を各地区に配置し、必要に応じて、関係部署や他機関との連携や協議を行うなかで支援を進めている。市民への周知については、ホームページや広報紙など、また市民講座や勉強会などの際に情報を発信することも郵便局やコンビニなどに情報の提供を依頼している。



ある「重層的支援体制整備事業」に向けた「移行準備事業」に取り組み、福祉総合相談体制の深化を図っていく。

A 本市では、各相談支援機関が分野を超えて連携する福祉総合相談体制を構築している。第4次南アルプス市地域福祉計画において、その調整機能を福祉総合相談課が担っている。令和4年度には国の新たな交付事業で

Q ひきこもりに限らず、複合的な生活課題を抱える市民に対し、「市町村プラットフォーム」の設置により支援調整会議等を活用し、地域の社会資源、ニーズの把握、適切な支援へつなぐ取組みは。

委託しているCSWが実施する「ステップワン」事業では料理教室、工作、スポーツ、農作業、サロンなどに参加する機会を作っている。民間の方にも協力をいただき、今後もこのような受け皿の拡充に努めていく。

A ひきこもり支援は、まず支援者が当事者やその家族と信頼関係を得ながら関わり、気持ちに寄り添い支援をすることが重要であり、その次に社会参加へ向けての支援となる。市の事業として、就労支援の前段階として、生活習慣や社会習慣を身につけて社会へ出ていけるよう支援している事業「就労準備支援事業」がある。また社協に委託しているCSWが実施する「ステップワン」事業では料理教室、工作、スポーツ、農作業、サロンなどに参加する機会を作っている。民間の方にも協力をい

いただき、今後もこのような受け皿の拡充に努めていく。

委託しているCSWが実施する「ステップワン」事業では料理教室、工作、スポーツ、農作業、サロンなどに参加する機会を作っている。民間の方にも協力をい



討議の焦点

こども家庭相談課の設置の具体的考えは

▶ 子どもおよび子育て世帯へのサポート体制を整え、きめ細やかな支援を実施する。

保育料の無償化と保育環境強化の考えは

▶ 保育料の完全無償化を決断し、受け入れ環境と保育士の人材確保に努める。



公明党
河野 木綿子 議員

こども家庭相談課

Q 4月から設置となるこども家庭相談課の担当や業務内容についての具体的な考えは。

A 健康増進課の子育て世代の包括的な支援と連携し、本庁の子ども家庭総合支援拠点として設置するもの。具体的には、横断的に業務を進める必要性が高い、発達支援、虐待問題、ヤングケアラーによる子どもの権利擁護等に関する支援を中心となって対応する課であり、「相談支援担当」は、現状の子育て支援課の子育て相談担当の業務と併せ、要保護児童の対策を所掌する。「途切れない支援担当」は、子育てに不安や悩みを持つ保護者の相談、幼児期から大人までの過程における途切れない支援などを所掌する。こども家庭相談課の設置により、子どもおよび子育て世帯へのサポート体制を整え、きめ細かな支援を実施する。

Q 途切れない支援を更に推進するため、特に小中学校の現場における教育委員会との連携の考えは。

A 現在、「南アルプス市途切れない支援連携会議」において、保健福祉部内の各相談支援に係る職員の間、校長、養護教諭などの学校関係者や、教育委員会職員が委員として参加し、子どもたちの支援連携を図っている。

こども家庭相談課に、途切れない支援担当を設置し、保護者、保育所、学校などからの相談に応じるとともに、子どもの特性や家庭状況などの背景により、生きづらさを抱える人たちに、生涯を通じて一貫した支援をしていけると考える。



新たに設置されたこども家庭相談課

保育料の無償化と保育環境強化

Q 新年度、3歳未満児の利用者負担額を無償化するための当初予算を計上した。これに伴う保育環境の整備や人材確保、待機児童の改善等の課題解決の考えは。

A 「住みやすいまち、子育てしやすいまち南アルプス市」を市民に

強く実感していただき、移住を含めた施策を推進するため、3歳未満児の第二子についても保育料を無償化することを決断した。保育環境の整備と人材確保は、令和5年度に若草保育所の整備と、民間保育所の整備を検討している。若草保育所の新築の際には、現在より17名増員の69名であるが、国の基準の最大値が可能とすれば最大118名が可能。民間保育所の新設の計画では、現状の16名から44名の28名増となる。今後も受け入れ環境を整える。また、人材確保について、来年度は保育士4名を増員し、会計年度任用職員も随時募集する。

Q 働かない選択をし自宅で子育てをする方への支援策は。

A 令和4年に一時預かり施設を増設。今後も保護者、関係団体の皆さまからご意見をいただき、支援策の内容や充実などについて、検討していく。

Q 一時預かりを無償化する考えは。

A 今後、検討していく。

●その他の質問

・本市における博物館に対する今後の方向性について



保育所の建築は、法は原則として木造建築が望ましいなかで、なぜ非木造としたのか

▶ 建物規模や耐久性から鉄筋コンクリート造にした。



未来創政の会
矢崎 俊秀 議員

まちづくりとその評価

Q 市長職を担任し、通算7年を通して、まちづくりをどのように評価するのか。

A 1期目は、庁舎問題、公
共施設の整備と再配置、
行政改革など、今後の市政運営
を見据えた基盤づくりを中心に
取り組んだ。2期目は、1期目
を継続しつつ、新産業拠点の整
備、子育て支援の充実、移住定
住人口の拡大、観光振興、企業
誘致の推進等に取り組む、未来
に向けて本市は明るい展望が見
えるところまでできている。

Q 市長任期を1年余りと
したこの段階において、
改めて政治風土の健全性や市民
の一体感の形成を図ることの必
要性について、どのように考え
ているのか。

A 合併以来、本市では市長が1期
ごとに交代する状況が続いてい
たが平成31年4月の市長選挙において、
初めて再選により市政の継続を市民よ
り付託された。私は、この継続を選択
した民意こそが、政治風土や市民の一体
感の形成への大きな前進と考えている。

Q やまなし「ゼロカーボンシテイ」
宣言の主旨に即した脱炭素社会



若草保育所の移転予定地（旧若草支所西側）

の構築に向けた基本方針をどのように
考えているのか。

A 2050年には、一般家庭はもと
より、あらゆる事業所から排出
される二酸化炭素排出量実質ゼロを
実現させることを基本方針としている。

Q 今後も保育所などの建築が予定
にあるが、「ネット・ゼロ・エネ
ルギー・ビル」とすることについて、
どのような考えにあるのか。

A 若草保育所において、「ネット・
ゼロ・エネルギー・ビル」の考え
方を取り入れた施設整備を検討してい
る。今後も、新たに建設する施設等
においては、可能な限り二酸化炭素の排
出量を抑えた設備を計画する。

Q 若草保育所は、平成29年度に実
施した耐震診断において、問題
ないとした診断結果があるが、何を根
拠に改築とするのか。

A 保育室が不足しており、平成29
年度からは、遊戯室をパーテー
ションで仕切り、2クラスが使用してい
る状況にある。このため、新築移転を
計画した。

Q 最近、県内で建築された公立保
育所は、そのほとんどが木造建
築にある。このことは、公共建築物等
における木造利用の促進に関する法律
で低層な公共建築物等について、原則
として、木造化が求められているが本
市は何故木造建築としなかったのか。

A 建物が2階建てで規模も大きい
ことから、鉄筋コンクリート造に
した。

●その他の質問

・工業団地拡張事業における費用対効果
について
・温室効果ガス排出量が多い既存施設の
対策の必要性について



討議の焦点

基金を活用すれば、令和4年度も国保税率の値下げは可能

▶ 令和4年度は県への納付金が増額の一方、被保険者数は減少。財源不足に基金を充て、税率を据え置く。

消防本部でのパワハラ事案をどう総括しているか

▶ 例規に基づき公平に処分。市民の信頼回復に向け再発防止に全力で取り組む。



日本共産党南アルプス市議員

名取 泰 議員



国民健康保険税

Q 市として来年度の国保特別会計の方向性をどう考えているか。

A 山梨県から令和4年度の事業費納付金が示され、本市の納付額は19億4058万4844円で、本年度と比較して約3500万円の増額となっている。令和4年度の国保税の当初予算は、今年度の税率の引き下げや、被保険者数の減少で、令和3年度当初と比較し、予算編成において8603万円の財源不足が生じる。

国民健康保険運営協議会の答申を踏まえて、令和4年度の予算編成では、財源不足分については財政調整基金を取り崩して充てることとし、保険税率を据え置くこととした。

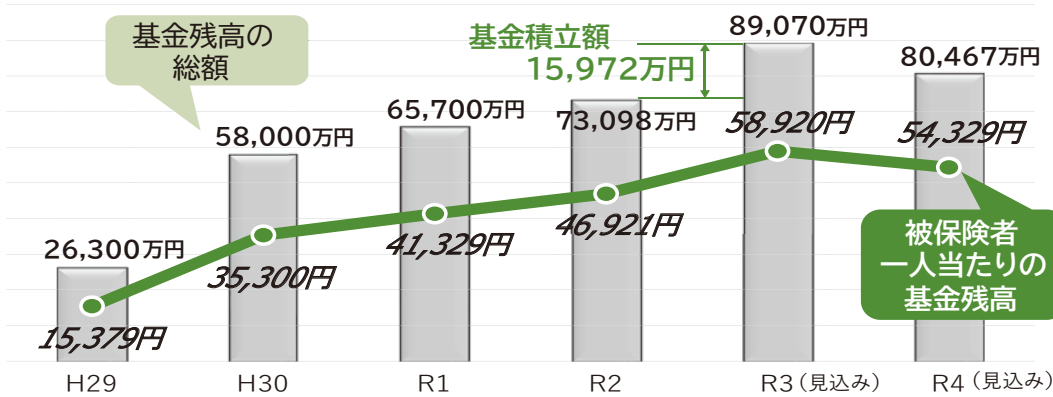
Q 財政調整基金を活用すれば、令和4年度も税率を引き下げることが可能と考えるがどうか。

A 令和3年度末の国保の基金残高見込みは8億9070万円となり、令和2年度末と比較して1億5972万円増加する見込みである。これは収納率の向上などで繰越金が多く発生したことが主な理由である。

しかし、令和4年度は、今年度比べ県への事業費納付金の増額に対し、被保険者数が減少し納付金に充てる財源の保険税収入が不足する見込みである。

南アルプス市の国民健康保険財政調整基金の残高

* 市の国民健康保険運営協議会での資料をもとに作成



財政調整基金を保険税引き下げに充てることは単年度的には可能と考えるが、長期的に捉えると今年度につき令和4年度も引き下げるという判断は難しいと考える。

今後は国民健康保険事業のより安定した運営を図るため、毎年度の事業費

納付金や税収の見込みなど財政の見込みを踏まえ、必要に応じて基金の有効活用を検討していく。

パワーハラスメント

Q 消防本部において発生したパワーハラスメントについて、市の例規に照らしてどう総括しているか。

A 今回のハラスメントについては、被害を訴えた職員のみならず、市民や関係者に不信感を抱かせ、心配をおかけしたことは、誠に遺憾であり、厳粛に受け止めている。

一般職の地方公務員は、地方公務員法の適用下であり、「信用失墜行為の禁止、職務に専念する義務」などが定められており、この法律を根拠に、市職員の処分などに関する条例や規則などが定められている。

今回の訴えから処分に至るまでは、これらに準拠して進められ、例規に基づき公平な判断がされたと考える。

ハラスメントは、処分することで終わるわけではないので、今後も、市民の信頼に応えられるよう、消防職員だけでなく、市役所職員が一丸となって、良好な職場環境への改善に努め、再発防止に全力で取り組んでいく。

質問の主題



移住・定住の促進と 子育て支援のまち 宣言を



新政南アルプス
飯野 多恵子 議員

Q 昨年の本市への転入は転出を上回り、甲府市に次いで多かったとの報道をどのように受け止めるか。

A 移住・定住人口の拡大を重要施策として、子育て支援策の充実や空き家の活用など人口減少対策に取り組んできた。令和3年度から「ふるさと振興室」を設置し、移住定住に関する相談や、各種支援事業を実施してきた。令和4年度からは「ふるさと振興課」に改め、新たに担当を設け魅力の発信を強化し、移住定住を促進していく。

Q 「子育てに優しいまち宣言」を行う考えは。

A 地域全体で子どもと子育てを応援する取組みをさらに推し進めるため、仮称「子ども子育て応援宣言」に向け、多くの関係者と年度内の実施を目標に協議を重ねていく。



Q 新若草保育所と周辺施設の駐車場整備に向け、具体的な安全対策について。

A 地域の代表者や関係者と協議を重ね、実施設計策定の最終段階である。具体案として、敷地内道路への歩道と自転車レーンの設置や、安全性を踏まえた道路構成など可能な限り設計に反映していく。また、駐車場入り口についても、現状の場所の整備を考えている。

質問の主題



地域経済の活性化に つなげるために



新政南アルプス
保坂 健 議員

Q 株式会社コーセー新設が計画され、当初は2021年度の稼働が予定されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大で稼働が延期となっている。その後の稼働に向けての状況はどのように把握されているか。

A 昨年11月に、コーセーの執行役員が来庁し、「コロナ禍はまだまだ続いているが、新工場の建設計画は進捗しており、スケジュールが明確になり次第、速やかにお知らせする」との報告があった。今後もコーセーと情報共有を密にするなかで、建設計画の状況につ



(株)コーセーの新工場建設予定地

Q 株式会社コーセーは、環境保全活動の支援を実行しているとのことであるが、本市への支援は。

A 南伊奈ヶ湖および菖蒲池周辺へのイロハカエデの植樹、また、エコパ伊奈ヶ湖のエリアにおいて、ブナ、コナラなどの植樹、歩道の整備などを計画している。

結婚新生活支援事業の拡大

Q 「結婚新生活支援事業補助金交付要綱」を定め、補助金を交付するとなっているが、夫婦の合計所得400万円の制限がある。制限は必要ないと考えるが、市の所見は。

A まずは、制度の周知徹底に努め、事業成果を検証するなかで検討していく。



市政のここを聞く！

一般質問の映像をご視聴いただけます。



質問の主題



市営住宅の現状と 今後の課題・対策は



躍進会
戸栗 淳 議員

A 現在入居募集を行っていない住宅は、ほとんどが昭和56年5月以前のものであるが、白根倉庫町団地の1棟および甲西神ノ木団地の1棟は昭和57年以降の建築であり耐震基準を満

たしている。現在入居募集を行っていない住宅は、すべて耐震基準を満たしていないということがある。

Q 現在南アルプス市内にある市営住宅は、すべて合併前の建築であり、その合計棟数は178棟、管理戸数607戸、入居者数は327戸となっている。

市営住宅

A 坂下第1・第2団地については、御勅使川沿いの山間地にあり、日当たりが悪く、湿気が多いことからカビが発生しやすく、住環境が良

く、住環境が良

Q 芦安地区の坂下第1・第2団地については、平成5年建築の建物で、政策空き家(※1)の対象となっていないにも関わらず、入居者数は0である。この理由と今後の利用対策は。

たしているが、入居募集は行っていない。



老朽化する市営住宅

A 現在、公営住宅の跡地利用の計画はなく、普通財産に移管したのちに、他用途による活用や、売却なども含め検討していく。

Q 政策空き家からの退去後、解体し更地にした後の土地利用計画は。

好でないため入居者が年々退去し、全住戸が空き家となっている。登山客などに短期宿泊として貸し出すにしても、不快な思いを抱かせてしまう環境下では、現状の利用方法が見つからない状況である。

(※1)政策空き家…入居者が退去後に取り壊す予定の住宅

質問の主題



補助事業延伸で 果樹低木栽培面積の 拡大を



躍進会
花輪 幸長 議員

A 国の令和3年度補正予算による「産地生産基盤整備パワーアップ事業」において、「果樹先導的取組支援事業」が新たに事業化され、2月18

日見解は。国の令和3年度補正予算による「産地生産基盤整備パワーアップ事業」において、「果樹先導的取組支援事業」が新たに事業化され、2月18

Q 「産地生産基盤強化パワーアップ」(果樹関係)が令和3年度補正予算化され農家にとって大変有益な事業であると考えるが、申請が短期間で厳しい状況である。令和4年度以降も継続される事業として県・国に大々的に働きかける必要があると思うが、市の見解は。

果樹産地 生産基盤パワーアップ事業

日から、事業主体のJA南アルプス市主催の説明会が管内の農家を対象に実施されたところである。

補助申請の過程において、市が関わらないことから、その概要等を国に確認したところ、先導的な農家を対象に、優良品種への改植・新植、これと一体的に実施する果樹棚の設置、併せて、土壌改良や防風・多目的防災ネットの設置など、



補助金を活用して整備した雨よけ施設

・多目的防災ネットの設置推進について

であるとの回答を得ている。

●その他の質問
・大規模導入農家への市単独補助金について
小規模園地の整備等について支援する事業である旨説明があった。実際の事業申請の流れについては令和3年度補正予算による事業であるため、非常に短期間での対応が求められており、事業の導入に十分な検討ができない農家も想定されることから、国に来年度以降の事業継続を確認したところ、来年度以降の事業実施は、不透明であるとの回答を得ている。

質問の主題



南アルプスIC
周辺エリアの
今後の土地利用は



公明党
小池 伸吾 議員

A 南アルプスインターチェンジ周辺については、市の玄関口としての役割を担う重要なエリアであり、コロナ禍の影響により、都市から地方への需要も高まっていることから、この機会をチャンスと捉え、本地域の持つ優位性を活かした土地活用を調査・検討している。

更に、本地域で創出された賑わいと活力を、市全体に波及させることにより、雇用の創出や人口減少対策、更には、基幹産業である農業の振興など、社会・経済・環境を総合的に向上させることで「持続性のある豊かなまち」を実現したいと考えている。



南アルプスIC周辺は市の玄関口としての役割を担う

質問の主題



マウンテンバイクで
地域活性化を



躍進会
三枝 守和 議員

Q マウンテンバイク 南アルプス市をプロモーションするには、子どもから大人まで楽しめるマウンテンバイクの推進が市の施策として最善かと思うが、市の見解は。

A 昨年11月、一般社団法人「南アルプス山守人」が市内平岡地区に「南アルプス立沼マウンテンバイクパーク」をオープンした。同法人には、荒れた山道の整備、地域の祭りや清掃活動への参加等により地域活性化に大いに貢献をいただいている。パークを運営する南アルプス山守人やサイクル王国やまなしの実現を目指す山梨県と積

極的な連携を図るなかで、マウンテンバイクを組み合わせた体験プログラムや周遊型観光ルートの開発などで、サイクルツーリズムをより推進し、地域活性化につなげる取組みを研究していく。

Q 日本の山林、山道は所有権や管理権が複雑である。整備や走行するための許認可のあり方を問う。

A 山梨県では、4月より森林空間活用マウンテンバイク聖地化推



パーク内のコース

進事業という新しい事業を立ち上げることが決まっている。本市としてもこの事業に積極的に関わり、地域活性化と市のまちづくりにつなげていきたい。

Q 観光周遊道路 エコパ伊奈ヶ湖から高尾まで観光周遊道路を整備する考えはあるか。

A この林道は、幅員が狭く、落石防止対策、大型車両乗り入れ制限の規制がある。また法定道路への格上げも含め、大規模な改善が必要であり、さまざまな課題があるため、現状においては整備の考えはない。



質問の主題



過疎地域 持続的発展計画の 推進は



小林 敏徳 議員

過疎地域持続的発展計画については、地域住民、地域団体とのヒアリングを重ね、課題や意見を共有し、芦安地区の住民が地域の文化や資源を生かしながら、地域の活性化を図ることを目的に計画を設定しており、周遊型、滞在型観光による集落内の活性化については基本方針の中で位置付け

A 過疎地域持続的発展計画については、地域住民、地域団体とのヒアリングを重ね、課題や意見を共有し、芦安地区の住民が地域の文化や資源を生かしながら、地域の活性化を図ることを目的に計画を設定しており、

Q 令和3年の12月定例会の市長説明要旨の中に、芦安地区全体を通じて楽しめる周遊型観光、滞在型観光の推進とあるが、どのような観光か。



過疎地域持続的発展計画

Q 生産者協議会の席上で、当時の社長の下で集めたお金は返しますと生産者に約束したが、緊急融資に協力してくれた71人に返却したのか。

旧完熟農園

体を通じて楽しめる周遊型、滞在型観光の推進に向けた取組みを進めている。

ているところである。芦安地区内で活躍する地域おこし協力隊やOB、OGによる宿泊施設や地域住民による健康をコンセプトとしたカフェの起業など、芦安地域にとつて新たな魅力づくりの活動が進行しており、地区全体を通じて楽しめる周遊型、滞在型観光の推進に向けた取組みを進めている。

A 情報が限られているなかで誤解を招く恐れがあるので、現時点での説明は差し控えたいと思うが、破産手続きが完了した段階において、市民に対して説明する責任があると考えている。

Q 現在も債権者と破産手続きが行われており、債権者集会も開催されているが、これらの経過を生産者に対して説明する必要があると思うが、説明する気はあるのか。

A 当時集めたお金は、破産会社の借入債務であり、返却していない。司法権限の下、今後破産管財人により清算手続きが進められる。

質問の主題



広がる、紙おむつの 施設内処分。 市でも検討を



日本共産党南アルプス市議団
松野 昇平 議員

臭いや排泄物には多くの菌が混入しているため保管しておく場所の衛生管理が必要などの理由から、慎重な対応を望む施設がほとんどだった。しかし、保護者および保育士の負担

Q 保育所から自宅への「使用済み紙おむつ」の持ち帰りについて、衛生面のリスクや保護者・保育士の負担などを踏まえ、施設内処分に切り替えるべきと考えるが、市の所見は。

保育所運営

A 保護者が紙おむつを持ち帰ることにより保育士とトイレトレーニングの進め方を一緒に検討していける、

Q 国が決めた3パーセント処遇改善はすべての保育士にすべきと



「使用済みおむつ」持ち帰り実施自治体は4割。BABY JOB(株)調べ

の軽減に繋がる面も考えられるので、今後、保育所現場や保護者の意見を聞くなかで検討していく。

A この度の保育士等に対する処遇改善については、本市の公立保育所および放課後児童クラブに勤務する会計年度任用職員に対して実施することとし、条例改正案並びに補正予算案を今定例会に提出している。正規保育士に関しては、コロナ禍において、全職員が感染リスクや緊張感、不安感を伴う環境のなか、各種窓口業務や、訪問、相談、個別支援、ワークシフト業務に全力で取り組んでおり、他の職員との均衡を保つ必要があることから、処遇改善は実施しない。

請願の審査

第1回定例会では、以下の請願について審査しました。

審査の結果、委員会および本会議において全会一致で採択することに決まり、市議会から関係機関に意見書を提出しました。

「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」についてシルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための請願書

請願者

公益社団法人
南アルプス市シルバー人材センター

請願のPoint

令和5年10月に消費税等において適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される予定となっている。シルバー人材センターの会員に対して、形式的に個人事業主であることをもってインボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。センターが安定的に事業を運営できる適切な措置を講じよう、政府関係機関に意見書を提出することを求める。

決議

南アルプス市議会では、第1回定例会において、ロシアによるウクライナ侵略に対して以下の決議案を提案し全会一致で可決しました。

ロシアによるウクライナ侵略に対して嚴重に抗議し、ロシア軍の即時撤退等を求める決議

要旨

ロシアによるウクライナへの侵略は断じて容認することができない暴挙である。本市議会は、一連の軍事戦略に嚴重に抗議し、ロシア軍の即時撤退を強く求める。また、政府には邦人の確実な保護や我が国への影響対策を求める。

議 会 活 動 報 告

知事へ陳情

小笠原橋架け替えに伴う装飾を山梨県知事へ要望

2月14日

飯野議長、野中副議長が、市長、地元代表者らと山梨県庁にて、小笠原橋の架け替えに伴い橋に小笠原長清公の足跡に関する装飾を施すよう、長崎山梨県知事に要望しました。



報告

「櫛形山を愛する会」が知事表彰受賞を報告

2月2日

第11回おもてなしの山梨県民大会で知事表彰を受賞した「櫛形山を愛する会」が、飯野議長に受賞を報告しました。同会は平成8年度から櫛形山を中心として環境保全活動に取り組んでおり、山岳観光の振興に貢献しています。



議員研修

インボイス制度について議員勉強会を開催

2月18日

インボイス制度についての請願書の提出を受け、請願の審査に備えて議員勉強会を開催しました。東京国税局の松浦孝太氏（課税第2部 消費税課 インボイス係長）から説明を受けた後、質疑応答を行い、インボイス制度の内容について理解を深め、請願の審査に備えました。



特集 南アルプス市議会改革 Vol.3

南アルプス市議会の活動に関する 市民アンケート の結果をご報告します

概要版

今、南アルプス市議会では議会改革として、市民の皆さまに議会について理解を深めていただき、そして参加していただくような開かれた議会とすることを目的に取り組んでいます。

この度、市民の皆さまのご意見、ご要望やご意向を幅広く伺うためにアンケート調査を実施いたしました。本アンケートの調査趣旨にご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。多くの方々からのお声を今後の議会改革や議会運営に生かして行く所存であります。

ここに、その貴重なご意見を分析しまとめましたのでご報告いたします。



飯野 久 議長

回答状況

■ 回答者数 444人

内	アンケート用紙	343人	77.3%
訳	インターネット	101人	22.7%

調査期間

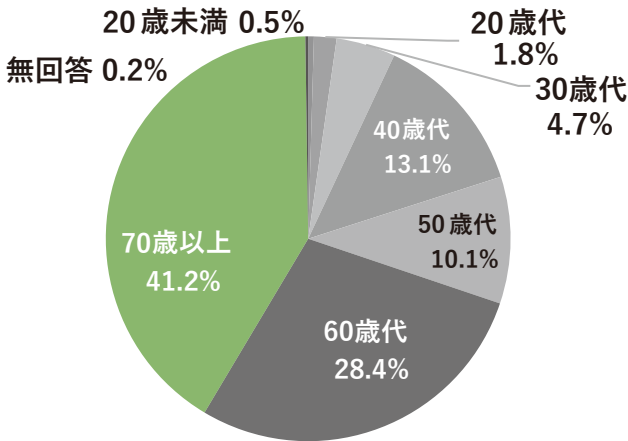
令和3年10月25日～11月30日

調査方法

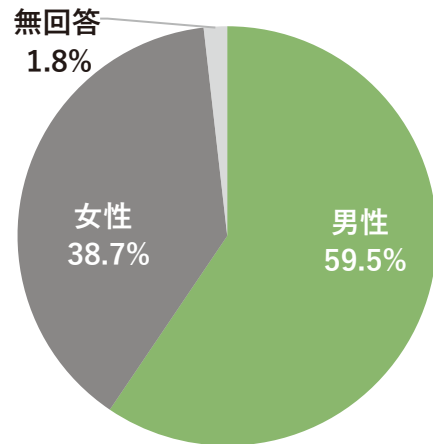
● 議会だより ● 市議会ホームページ

ご回答いただいた方の内訳は、次のとおりです。

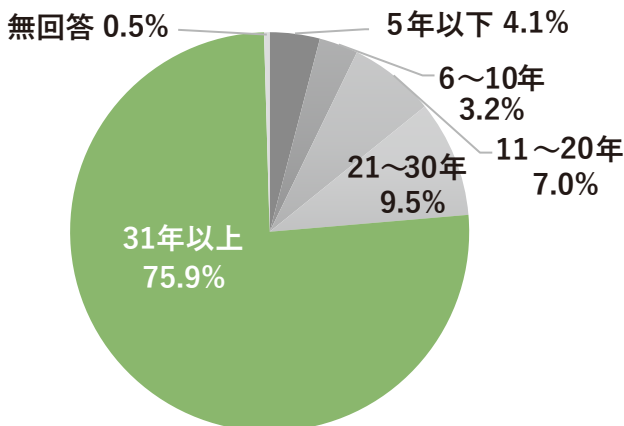
年齢



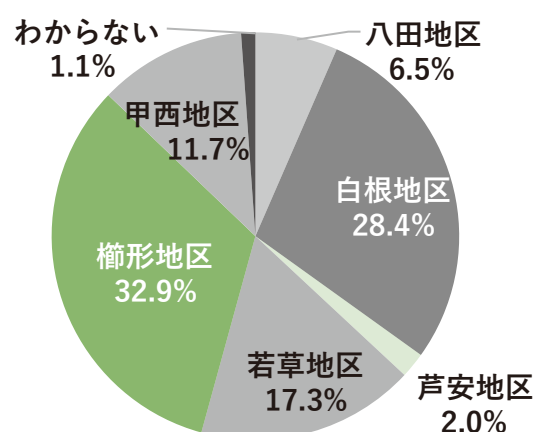
性別



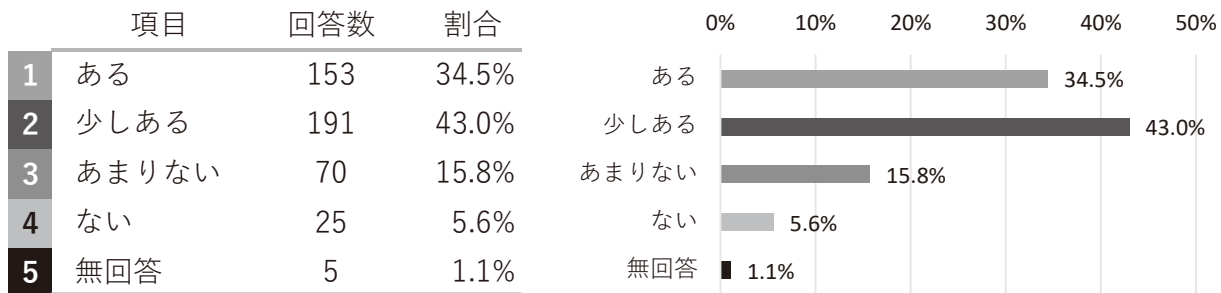
本市に住んでいる年数



住んでいる地区

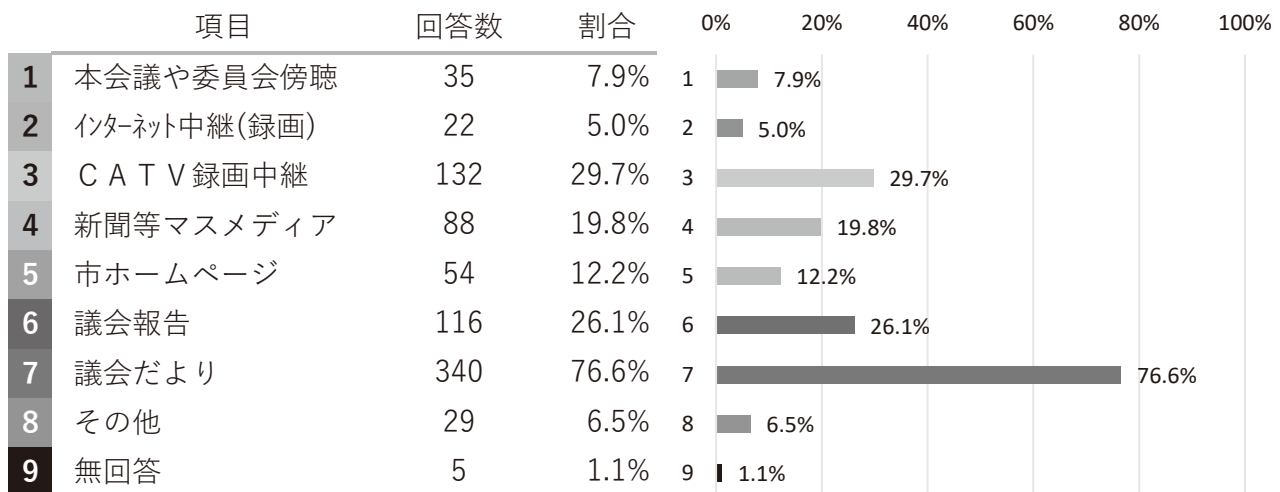


Q 議会に関心がありますか。



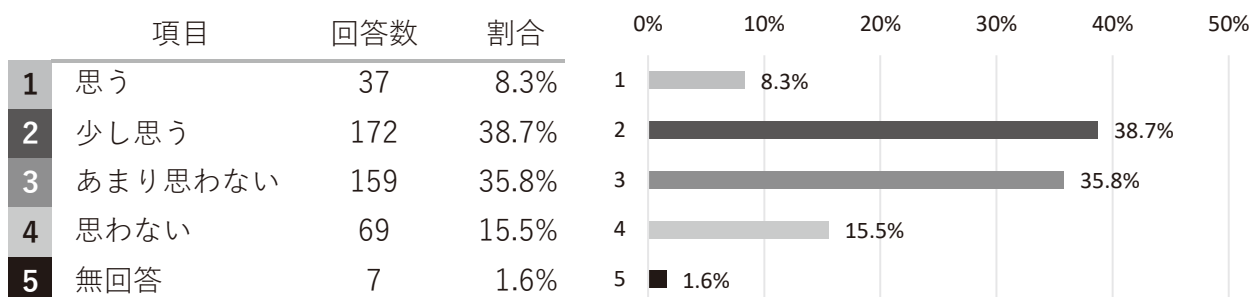
・議会への関心度は「関心がある」「少し関心がある」で、77.5%と高い。

Q 議会の活動や情報をどのような方法で得ていますか。 ※複数回答可



・議会活動等の情報源は、「議会だより」(76.6%)がトップで、つづいて「CATV録画中継」「議会報告」となっている。
 ・30歳以上の情報源は「議会だより」がトップである。

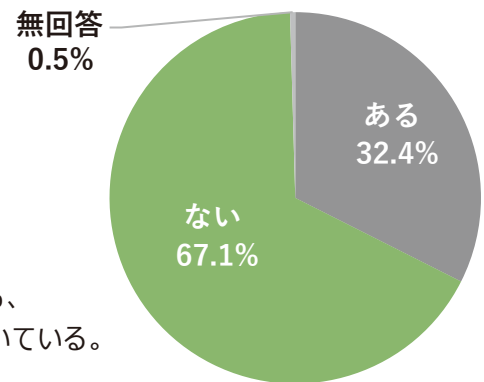
Q 議会に市民の声が反映されていると思いますか。



・市民の声が「反映されている」は47.0%、「反映されていない」は51.3%の回答となっている。
 ・年代別で見ると「反映されている」は70歳以上が53.3%と最も高い。
 また、「反映されていない」は40歳代で65.5%と最も高い。

Q 議員や議会に対し、ご意見やご要望を出した（伝えた）ことがありますか。

	項目	回答数	割合
1	ある	144	32.4%
2	ない	298	67.1%
3	無回答	2	0.5%



- ・意見等を出したことが「ない」と回答した方は67.1%である。
- ・年代別にみると、「ない」と回答した方は、20歳未満が100%、30歳代が90.5%、50歳代75.6%、20歳代75.0%と続いている。



上記のご意見やご要望を出した（伝えた）ことが「ある」と回答した方（144人）に聞きました。

Q どのような機会にご意見やご要望を出しましたか。 ※複数回答可

	項目	回答数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	事務局へ直接・郵送・FAX	9	6.3%	1	6.3%				
2	議会報告会	8	5.6%	2	5.6%				
3	議員個人	125	86.8%	3	86.8%				
4	その他	5	3.5%	4	3.5%				

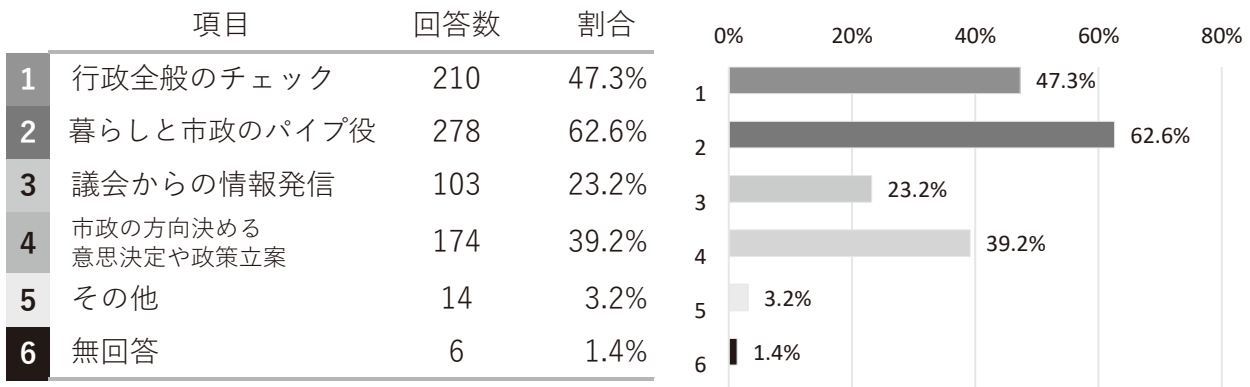
- ・意見や要望を「議員個人」に出された方の割合は、86.8%を占めている。
- ・意見等を出したことが「ある」と回答した方（144人）の年代別の割合は、70歳以上が55.6%、60歳代が23.6%、40歳代が10.4%、50歳代が7.6%の順序となっている。

Q 現在の南アルプス市議会を評価しますか。

	項目	回答数	割合	0%	10%	20%	30%	40%	50%
1	評価する	47	10.6%	1	10.6%				
2	どちらかといえば評価する	172	38.7%	2	38.7%				
3	どちらかといえば評価しない	82	18.5%	3	18.5%				
4	評価しない	52	11.7%	4	11.7%				
5	わからない	89	20.0%	5	20.0%				
6	無回答	2	0.5%	6	0.5%				

- ・現在の市議会を「評価する」「どちらかといえば評価する」で49.3%、「評価しない」「どちらかといえば評価しない」で30.2%である。

Q 議会および議員に何を期待しますか。※複数回答可



- ・「暮らしと市政のパイプ役」が278件とトップで、「行政全般のチェック」が210件で続いている。
- ・その他の回答では、「市民の声を聴いてほしい」旨の意見が5件あった。

自由記述欄のまとめ

市民の声の反映について

議員に要望を伝えたくても、手段がわからない。また、そうした場がないとの声も多く、意見交換の機会を作っていくことの重要性を感じました。



40代男性

LINEやSNSで
情報発信してほしい

このご意見も多
くいただきました。
また、

議会の情報発信について

SNSやLINEなど、インターネットやあらゆるメディアを使った発信を求める声が多く、内容の解説などの工夫も必要との意見もありました。また、市政報告会や懇談会など直接の対話の場を設けてほしいとのご意見も多かったです。

議会に対するご意見やご要望について

議員の年齢層が高いことにふれ、若者の議会への参画を期待する声も多く、その解決策としての議員定数、および議員報酬も含めた検討の必要性を求める意見も多くありました。もっと私たちの声を聴いてほしい、市政に反映してほしいとの切なるお声をいただき、改めて、より市民に寄り添った、そして、より住みやすいまちの構築に努めてまいりたいと思います。そして、市議会議員として「市民のため」との原点に立ち返り、より真剣に、そして全力での取り組みを改めて決意させていただきます。

もっと身近に
寄り添ってほしい



70代女性

議会の評価について

議会、および各議員からのさらなる情報の発信、市民の皆さまの声を聴く場が求められています。また、議員の資質向上を訴える方もいました。大きな課題である旧完熟農園の跡地利用の対応を見て評価する方も多くみられました。

詳細な報告書は、市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページはこちらから ▶ <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/11853.html>





市民から ひ・と・こ・と

HITOKOTO from the Citizen



三枝 正揮 さん
(地区/野牛島)

南アルプス市に住んでいてよかったあ〜。引っ越してきてよかったあ〜。南アルプス市は、名前にふさわしい所じゃんね。こんな会話が聞こえてきます。

南アルプス市から見る富士山、八ヶ岳、一望できる甲府盆地、そしてこの自然豊かなここをどう生かすか？

旬になればさくらんぼ、シャインマスカット、すもも、あんぽ柿等々、これらを収穫するために一生懸命笑顔で働く人々の姿、そしてボランティア活動に汗を流す人々、雪をかぶったアルプスに守られる災害のないこの地を、若い市民からお年寄りの意見、またそれぞれの想いが、市議会会議場に集約され、さらに更に素晴らしい南アルプス市が形づくられて行くことを切に望みます。



沢登 友江 さん
(地区/加賀美)

私は月2回のあったかカフェや、月1回の買い物ツアーに顔を出し参加している人たちから元気とパワーをいただいています。90歳近い方がスマホからテレビにデータを送信し、ボランティアとして活躍されている様子に感動し、買い物ツアーで高齢者が買い物を楽しんでいる様子を見て、自分がお手伝いでき良かったと思っています。

高齢社会の中、家にこもる高齢者が減り、健康で楽しく暮せるよう地域で支え合うことの必要性を痛感しています。新聞やテレビでロシアとウクライナの戦争のことを報じていて、心配な日々が続いています。世界平和と多くの人に支え合いの大切さを理解してもらい、温かい地域づくりに力を貸してもらえらる社会になることを望みます。

市民から ひ・と・こ・と 募集中

あなたの意見を『議会だより』で発表してみませんか。市議会に対する意見や感想をぜひお寄せください。
【300字以内にまとめてください】



【提出先】

〒400-0395 南アルプス市小笠原 376
南アルプス市議会事務局 宛
メール：gikai@city.minami-alps.lg.jp
FAX：055-282-6459



表紙写真 募集中!!



『議会だより』の表紙写真を募集しています。

テーマは、南アルプスユネスコエコパークにちなんだ市内の自然風景です。市街地や山岳地域など、これはというものをぜひご投稿ください！

詳しくは webで

※応募条件や提出方法は市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/9395.html>



議会を傍聴してみませんか？

事前申込不要 委員会も傍聴できます

●第2回定例会の会期予定

- 5月27日……………本会議(初日)
- 5月31日～6月3日……………委員会
- 6月13日～14日……代表・一般質問
- 15日～16日……………委員会
- 17日……………本会議(最終日)

※日程等は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。(日程が変更になる可能性があります。)

●第1回定例会の傍聴者数：20人

※報道関係者8人は除く

編集後記

春らんまんの季節を迎え、穏やかな日々を過ごしておりますが、遠くウクライナでは2月24日からロシアからの侵略による無差別攻撃を受け、多くのウクライナ市民の尊い命が奪われています。強い国が暴力により制圧しようとしているこの惨状を見て本当に心が痛みます。早く終戦することを願っています。

さて、本市議会では議会改革を進める中で、昨年10月、市民アンケートを実施しました。ご協力いただきました市民の皆様には厚くお礼申し上げます。アンケート結果は市ホームページと今回の議会だよりに掲載してあります。その中で76.6%の市民の皆様が議会だよりに頼りに情報を得ていることを知りました。また本市議会だよりが令和3年度山梨県広報コンクールの議会広報紙部門で奨励賞を受賞したことを報告するとともに、これらを糧に今後も市民の皆様の情報紙として期待される議会だよりを目指してまいります。

議会だより編集委員会

委員長/北村 千代子 副委員長/松野 昇平
委員/藤田 亜由未、保坂 健、三木 充、斉藤 諭
河野 木綿子、小林 敏徳

南アルプス No.76
市議会だより

発行者 南アルプス市議会 〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376
TEL 055-282-6452 FAX 055-282-6459
URL <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/gikai/>

